

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4671500090
法人名	医療法人 一桜会
事業所名	グループホーム さくらのお家・よしだ
訪問調査日	平成 20 年 7 月 17 日
評価確定日	平成 20 年 8 月 18 日
評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日平成20年7月21日

【評価実施概要】

事業所番号	4671500090
法人名	医療法人 一桜会
事業所名	グループホーム さくらのお家よしだ
所在地	鹿児島市東佐多町269-2 (電話) 099-245-5500

評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会
所在地	鹿児島市城山1丁目16番7号
訪問調査日	平成20年7月17日
評価確定日	平成20年8月18日

【情報提供票よ!】(平成20年6月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 9 月 1 日
ユニット数	2 ユニット
職員数	16 人
利用定員数計	18 人
常勤	14 人
非常勤	2 人
常勤換算	15.4 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1 階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	19,500円	その他の経費(月額)	12,000円(光熱費)	
敷金	有()円	無		
保証金の有無 (入居一時並立 お)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(6月1日現在)

利用者人数	17 名	男性	0 名	女性	17 名
要介護1	0 名	要介護2	5 名		
要介護3	7 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.7 歳	最低	75 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関	吉留クリニック 吉田温泉病院 西園歯科医院
--------	-----------------------


【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「さくらのお家よしだ」は始良インターより車で5分の位置にあり、広々とした緑一色の田園地帯に在るおしゃれな白い建物である。ホームの特徴は周囲が自然環境に恵まれており、季節感を大切に考え、食事にも季節の食材、季節行事のメニューにこだわっている。ホームは利用者の能力を生活の中で活かしながら、のんびり、ゆったり暖かな家庭生活を目指している。住み慣れた町で文化的な生活を送ってもらうよう、地域行事に積極的に参加しているグループホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前年度の改善点「運営推進会議の定期的開催と、会議での意見交換が十分に行われていない。」ことであったが、努力し改善している。又「市町村との連携についての取り組み」の指摘については今後も課題として引き続き改善項目としている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	運営者、管理者、職員共に自己評価の意義を理解しており、全員参加で昼休みの時間やミーティング後の空き時間を利用して2ヶ月かけて1項目毎検討し、評価を行っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	前年度定期的に開催が困難であった運営推進会議は今年度は定期的開催でき、内容も広がり、外部評価の改善に向けての討議、ホームの行事報告、行事予定、地域の行事情報収集、運営推進会議のあり方、抱える問題点等を討議し、アドバイスもらい、徐々ではあるがサービスの向上に活かしてきている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ホーム内に相談窓口を明示したり、家族会を開催したり、ご家族がホームに来訪の折にはご家族が意見や苦情、要望など出し易いように雰囲気作りに配慮している。出てきた問題については、職員会議で検討し対応して運営に反映している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入はしていないが、自治会主催の「いきいき地域サロン」や、地域主催の「鬼火炊き」、商工祭主催の夏祭りの寸劇参加、旧吉田町主催の文化祭に作品出展、学校・幼稚園の運動会などの行事へも参加している。地域の竹製品工場見学や地域のボランティアの受け入れなどで地域の人々との交流を活発に行っている。

2. 評価結果(詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームは開設当時作成されていた理念を基本とし、半年後職員全員で見直しを行い、サブタイトルとして、「住み慣れた町で文化的な生活の支援」が理念に掲げられ、地域密着の必要性を謳っている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は毎日の申し送り時に理念の唱和を行い、生活の中に於いては玄関、食堂に理念を掲示し常に意識できるように備えている。問題が生じた時は理念にそって問題に対処し、申し送りやミーティングでその都度問題を話し合い共有するよう図っている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入していないが、自治会の「いきいき地域サロン」、地域主催「鬼火炊き」、商工会主催「夏祭り」、旧吉田町主催「文化祭」学校や幼稚園の「運動会」などの行事には入居者、職員共々参加して地域の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は評価の意義については理解しており、自己評価作成にあたり全員参加して昼休み時間、ミーティング後などの時間を利用して2ヶ月かけて作成している。前年度外部評価の改善にも取り組んでいる。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前年度定期的に開催が困難であった運営推進会議は今年度に於いては偶数月に開催できるようになり前進が見られる。会議では行事報告、行事予定、運営推進会議のあり方の討議、外部評価改善点の話し合いなどもおこなわれ、地域の行事の情報を得るなどサービス向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は市町村との連携の必要性を理解しているが、担当者が多忙な為、サービスの質の向上に向けて話し合うところまでには至らない。包括支援センターの職員とは、利用者の状況など話し合う機会ができるようになった。又市の介護相談員の受け入れも実践しているがサービスの向上に繋げるに至っていない。		市町村担当者に事業所の現場の実情、利用者の課題、ケアサービスの取り組みなどを伝えることで、実態や考え方を理解してもらうよう働きかけ、日常的な情報交換の場を広げるよう前年度より引き続き努力されることを望む。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月請求書と一緒に利用者の近況報告、金銭出納帳のコピーを送付している。近況報告は全員共通したお知らせに個人的に伝えたい文の書き込みをしている。その他法人の広報誌、写真、ホーム便りなども時に応じ添えて送っている。職員の異動は結婚、出産などによるもので、面会時に知らせている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年2回おこなっているが、運営に関する意見は出していない。ホーム内には苦情窓口案内所の明示をしているが意見は無い。ホームに来訪された時できるだけ、意見を求めるように努力している。意見があった場合職員会議で検討し、改善に向けて取り組んでいる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は職員の異動で利用者やご家族に不安、不信、不満を与えることを理解しており、法人内の異動は最小限に抑える努力をしている。やむなく変わる場合雰囲気の良い人を採用したり、ダメージを与えそうな人には管理者や主任が注意を払い見守るなど努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人についてはマニュアルに応じてオリエンテーションをしている。外部研修年4回、法人内では年6回の研修がありできるだけ平等になるよう交代で参加し、報告・伝達も実施して全員周知できる体制である。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ケア交流会(同業者5事業所の外その他のケア事業所なども参加している)に参加し地域の同業者と交流をする機会となり、そこを通じた同業者間で相互訪問の交流を図り、職員の意識を高め、サービスの質が向上している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に利用者やご家族にホームの見学をしてもらい、職員や入居されている他の利用者さんの生活や雰囲気馴染んでもらい納得されて入居してもらうよう図っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、入居者は人生の先輩であり、家族も同然との思いで接している。日常生活の言葉の中から教わることが多くスタッフ間で話し合い共有し、喜怒哀楽を共にしながら、支えあう関係を築いている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>管理者や職員は会話の中から本人の思いや意向を確認したり、生活の中から様子の気づきを書き込んで本人の希望や意向の把握に努めている。困難な場合はご家族の意向、スタッフの意見をもとに意向の把握に努め本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、ご家族の意向、希望を重要視し、医師や日々本人に接する職員全員の意見、アイデアを取入れた介護計画を作成している。作成されたケアプランの内容を家族に報告し、職員全員が把握し共有するよう図っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎に現状に即した計画の見直しをしている。状態の変化が生じた場合は、随時本人、ご家族、必要な関係者と話し合い計画の見直しを行い新たな介護計画に反映している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人ご家族の状況に応じ通院、送迎、墓参り、自宅帰りなど必要な支援をしている。医療処置を受けながら生活の継続や重度化した場合や終末期の入院の回避も支援するなど事業所の多機能を活かした支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームは本人・ご家族の意向によるかかりつけ医を尊重し、通院が困難な利用者には定期的な往診を受けるなど適切な医療を受けるよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の利用者が実在し、医師を含め職員・看護師・ご家族の連携は十分に行い全員で方針を共有して看取り介護をしている。が「重度化した場合における対応に係る指針」「同意書」が準備されているにもかかわらず使用するに至っていない。		今後利用者の重度化に伴い本人・ご家族に早い段階から「重度化した場合における対応に係る指針」に同意を求められ急変時の対応の話し合いや方針の統一を図って欲しい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者・職員共にプライバシーの保護や個人情報漏洩防止の重要性について理解している。管理者は長年の暮らしの中で職員が入居者に対し馴れ合いから発する言葉かけが気になり、原点に立ち止まり全員で考えたい意向を持っている。		日々入居者の方々との会話に問題となる言葉使いは無いかについて職員全員で話し合いを重ね、入居者の尊厳と権利を守れるようプライバシーの確保を徹底し、質の向上に繋がることを期待したい。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々その日の過ごし方について話し合い本人の希望を重要視した支援をしている。意思表示の無い方についても職員で本人の立場になって話し合い適切な支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けは個人の能力に応じた作業をしてもらい、職員と同じテーブルで、同じ食事をしながら会話が弾み、楽しい家庭の雰囲気である。ホームで育てた野菜を使ったり、季節感ある献立を重要視して食事中的の話題にしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日できる体制にしており、希望にそって入浴の支援をしている。一番風呂の希望者が多く、それについてもトラブルことが無いよう納得できるよう対処している。お湯は常に10割になるよう自動給湯され、入浴を楽しんで出来る支援がなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人やご家族より、一人ひとりの生活歴や趣味を把握しており、張り合いとなる生け花、梅干作り、野菜取り、食事の下ごしらえ、後片付けなど役割をもらっている。好きな歌、ゲーム、さつま狂句、散歩など喜びや気晴らしとなる支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームからは川、田園、山など絶景な眺めで、天気の良い日は日常的にホームの広い庭の散歩を促している。買い物やドライブの支援もできるだけ希望に添うよう配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者・職員全員が鍵をかけることの弊害を理解しており、居室、玄関とも鍵はかけず、昼間は門も開いている。外出傾向の人も把握しており、職員は作業しながら注意して見守り、玄関を出られたら一緒に行動している。近隣へ協力の呼びかけもしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署による防災訓練を行い、夜間火災の想定訓練や地震災害訓練も行っている。地域の方は訓練に参加していないが、避難場所の提供協力を得ている。		災害訓練は年2回その他、日頃から全職員があわてないようシュミレーションしたり、自信を持てるよう自主訓練を重ねて欲しい。又災害に備え食料や、水の確保は離れた場所の法人に頼るだけでなく、ホームとしても必要性を考えられ備えて欲しい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は法人の管理栄養士が作成したものを基準にし、育てた野菜を使ったり変更をすることもあるし、好き嫌いのある人には代替品を使っているが量や栄養バランスには配慮している。水分量の摂取についても記録しているがユニット間で把握の仕方が違う。		水分摂取量についてユニット間の統一が見られなく、又摂取量把握の必要性について、職員の意識が足りない部分もあるため再度検討され見直しをして欲しい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂、居間は自然採光に恵まれ明るく、遠くの間々、周辺の田んぼを眺め季節の移ろいが見渡せる。玄関やテーブルには庭に咲いた花が生けられ、願いが書かれた七夕飾り、台所の傍に漬けた日付入りのラッキョウ、梅干瓶が置かれ又廊下の壁には皆で作成したアートや、行事の写真を貼るなど季節感・生活感をとり入れ、居心地よく過ごせる工夫がしてある。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は畳の部屋で半坪の押入れとエアコンが備えてあり、それぞれの入居者の馴染みの品(ベット、布団、タンス、テーブル、椅子、思い出の写真、時計、ぬいぐるみ等)が持ち込まれ個性ある部屋作りになって居心地良く過ごせる工夫がしてある。		